	項目	項目内容	記載例①	記載例②	必要な支援と配慮 記載例
1	出勤状況	過去/現在の遅刻・早退・欠勤状況	期間中は問題なかったが、これまで の就業では月に 1 回程度不調での 欠勤があったとのこと	期間中に2回寝坊による遅刻あり。 家族が代理で連絡してきている	自力での朝型生活リズム継続が難 しく「PM からの勤務」などの調整 が効果的だった経過あり
2	健康状態	身体的・精神的な健康状態による 勤務への支障はどうか	頭痛が生じることもあるとのこと だが、自ら受診や服薬ができ、勤務 に支障はない	体調不良を感じると、予防的に欠席 や早退を希望することがある(期間 中2回)	体調不良を自分で感じにくいため、 周囲の見守りや受診同行が必要
3	身だしなみ	身だしなみ(着衣・整容)はどうか	服選びは家族がしている。着衣の乱 れなく、労働上支障がない	着古した同じ服をいつも着ており、 衛生感にかける。服装にこだわりあ り、制服への着替えは拒否	自力で TPO に合わせた整容を維持するのは困難。これが支障にならない環境選びが必要。
4	交通機関の利用	移動手段の選択肢はどうか	公共交通機関の利用は好まないが、 自家用車で安全に移動でき、駐車場 が確保できれば特別問題ない	新しい場所へ行くバスルート選び は一人では難しい。また、1.2 回は 同行がないと不安が強い	バスルートを関係者が共に選び、 1.2 回同乗練習をする
5	規則の遵守	所属環境の規則を守るか	周りを見て倣うことは難しいが、明確にルールを伝えれば必ず実行する(例えばゴミ箱の分別方法など)	ロッカーのカギの保管について伝 えるが、前事業所で習った方法を踏 襲したがり、倣うことを拒否	所属先が守ってほしいルールは、本 人へ事前に時間を取って説明する と理解がすすみやすい
6	挨拶	相手や場に応じた挨拶をするか	出勤・退勤の挨拶など、固定のもの は自らされている。来客者への応答 など不意のものには反応がない	自発的な挨拶は見られない。職員からの挨拶には返すが、利用者への挨 拶には返答しないことがある	会釈は可能。所属先が求める挨拶が これで許容できるかを下調べして おく必要がある
7	意思疎通・会話	相手に応じた円滑な意思疎通・会話をするか	業務上必要なやり取りは過不足な くした。一方で、雑談は苦手とのこ と。必要以上の会話は持たれない	質問に応じた返答が難しく、会話内容の筋がずれることが多い。話すことについては積極的で言葉数多い	所属先へは本人のコミュニケーション傾向を伝え、私語 OK のタイミングを明確にしてもらう
8	上下関係・言葉遣い	相手に応じた言葉遣いをするか	誰に対しても丁寧語で対応。崩し方が分からず、慣れても丁寧語のみを 使い続けると聞いている	口語や単語での返答や報告がほと んど。言葉遣いの注意を受けると修 正するが継続しづらい	本人が口語で話した時は丁寧語に 言い換えるよう返す。周囲も丁寧語 で本人との会話をする環境が有効
9	人間関係の維持	対人関係の持ち方はどうか	他者と仲良くしたい気持ちはある が揉めやすく、一人でいいと割り切 ることもしづらく、葛藤している	他者の中で過ごすこと自体に強い ストレスを感じやすい。態度は適応 的だが疲れは強く、継続しづらい	社会に出る前に、職場での人間関係 の持ち方について学ぶ機会をつく る
10	情緒の安定性	感情のコントロールはどうしてい るか	ミスの指摘の影響等で気分が乱れることもあるが、休憩を挟むなど自己対処して、影響を引きずらない	日によって気分の波が大きく態度 に表れる。そのたびに面談の希望が あり、それ以外の対処はない	不調時には頓服薬の服用が頭に浮 かびにくくなるため、本人としては 周囲からの声がけを望んでいる
11	協調性	他者と共に、場で和やかに過ごすか	休憩時間、まわりの方に話しかけら れるとにこやかに返答するなど、大 変適応的	正義感が強いためか、ふとした他者 の言動が見過ごせず、急に強い語気 で指摘をすることがあった	本人が協調行動を取れなかった際 にはタイムリーに振り返る機会を 持ち、次の選択肢を共有する
12	体力	業務に従事する体力はどうか	屋外での農作業をし、連続した 2 時間の業務への従事に支障がなかった	座りの軽作業、30 分経つと座位が 崩れ、足組みもあった。本人に確認 すると自覚はなかった	本人の体力的に従事可能な業種・業 務時間の整理をおこなう
13	指示内容の理解	指示をどう理解して業務に取り組 むか	複数の指示は忘れてしまい、しきれないことがある。2 つの指示までは 実行できることを確認した		基本的には口頭指示+見本の提示を 行い、実際に 1.2 度やってみて理解 度の確認を行うのが有効
14	正確性	作業の正確性はどうか	指示を遵守して実行し、20 の完成 品のなか、ロスは一つもなかった	作業によってムラあり。入力では2件に1件の変換ミスが生じたが、軽作業では10件に1件程度だった	視覚的な理解のしやすい業種の選定(それにより正確性が担保される)
15	器用さ	手指の精緻さはどうか	アクセサリー製作では小さな部品 を間違いなく扱い、指示通りスムー ズに完成させた	精緻な作業は好まないとの発言あり。具体的で細かな指示のもと取り 組んだが、完成に至らなかった	自力で習得は困難だが、教えられれ ばその通りするため、具体的な手指 の動きを指示するのが有効
16	判別力	間違いや不良品の見分けが可能か	点検作業では、細かな点が気になり すぎて、必要以上にロス品を分別 し、やり直しが必要だった	作業のやり直しを指示する際、良品 との見比べをするが、口頭で違いを すぐ理解し修正した	作業を続けるうちに判別基準が広 がるため、自力で基準を見返せるよ うな写真付き指示書の導入を検討
17	作業速度	作業の速度は一般と比較してどう か	慣れた方と同等の速度だが、早くこなすことに夢中で雑になり、修正が必要。結果、時間がかかる	慎重に取り組み、ひとつひとつの動作に時間かかるため、周りの半分以下の速度	本人は熱心に業務しているため、今 以上の速度を求めるなら効率的な 作業手順等の指示を検討
18	作業変化への対応	作業予定や作業手順が変更になる ことへの反応はどうか	そもそも 1 日の予定を伝えておら ず、都度の指示で取り組んでいる。 そこにストレスはないとのこと	前回と微妙に違う作業手順が発生。 理解し直すのに初回説明よりも苦 労。手順書の提示が必要だった	聞いていれば対応可能なため、業務 に入る前に、当日の流れを共有す る。変更の可能性についても伝える
19	危険への対処	安全行動がとれるか	自ら危険を予測し回避行動をとる が、身体的制限から行動自体に時間 を要するため、危うさがある	危険を想像した行動を選択しづらく、指示しても刃物の使用に危険があったため、2度の使用以降は中止	自発的な安全確保は難しいので見 守りや環境選びが必要
20	質問•報告•連絡•相談	自発的な質問・報告・連絡・相談の 状況	業務完了の報告をせずに自席で待っている。ただ、まわりの方もそうしており、その影響も考えられる	気になることをすぐに相談したい 気持ちがあり、業務から抜けること が2回あった	具体的指示があれば模倣できるため、どのように行動するとよいかを 提示し、ロールプレイを行う
21	時間の遵守	休憩時間等を守った行動を自らと るか	事業所のアナログ時計を読むこと はできないが、周りの動きに合わせ て行動するため、時間は守っている	時間で行動する感覚に乏しく、業務 開始に遅れ、業務のキリをつけて時 間で終わることも難しかった	時間予測の困難さから遅れが生じ ており、バーチカルスケジュールの 活用により軽減した
22	整理整頓	備品を丁寧に取扱い、準備片づけを 自らするか	準備は自分でし、特別問題なくテープカッターを使用。休憩が気になり 片づけはせずに机に放置した	率先して準備片づけした。扱いは粗 雑。「丁寧に」が分かりづらく、具体 的行動指示があればその通りした	業務をすることと片付けを関連付けて理解しておらず、今後繰り返し 実行し習慣化する必要がある
23	積極性	どの業務にも取り組む姿勢がある か	他者の業務が気になり、自分もした いと申し出る積極性があった。同じ 作業の繰り返しはしづらい		本人にとっての、取り組みたい業務 /そうでない業務について共有し、 事業所との折り合い点を模索
24	集中力	集中して業務に取り組むか	周りから集中しているように見え、 能率にも変化ないが、本人は 1H を 超えると集中力切れると発言	どの内容であっても集中はしづら そうに見え、キョロキョロ周りを見 渡している。指摘するが自覚ない	他者の動きが見えると気持ちが落 ち着かないとの発言あり、業務時の 席配置には環境調整が必要
25	責任感	任されたことをやり切るか	業務の続きが気になり、体調不良 (37.2℃)を押して出勤することが あった。		区切りがあったほうが取り組みや すいようなので、1 時間に 1 回程度 休憩を挟むなどの環境調整が有効
26	共同作業	他者と協力して作業するか	役割を指示されれば、他者との流れ 作業に対応し支障なかった。嫌では なかったとの感想		どう行動すればよいか分かれば対 応できるため、本人に任せたい役割 を具体的に提示する